



<p>に伴う妊産婦、不妊治療中の方々への配慮について</p>	<p>らの感染も懸念し、大きな不安を抱え妊娠、出産、育児への対応に悩んでいる妊産婦の方や、不妊治療中の方々がいます。予定していた里帰り出産の自粛や感染対策のため、立ち合い出産の見合わせ、特定不妊治療中の夫婦にとっては、治療の延期も余儀なくされている現状もあります。困難な時期ではありますが、安心して妊娠、出産、不妊治療等に臨める心のケアも含めたきめ細かな支援が必要であると考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(1) 当市における里帰り出産する方のうち希望者へのお産前のPCR検査実施について伺います。</p> <p>国においては(厚生労働省)特定不妊治療における対応年齢要件の緩和を始め、LINEでの医療相談、働く女性を守る「母性健康管理指導事項連絡カード」等、支援を強化した各種情報を発信しています。</p> <p>(2) 必要な方に必要な情報が、直接届くよう市HPへの掲載、リーフレットの配布や相談窓口等の周知徹底が重要であると考えますが、当市の対応について伺います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対応した妊産婦に係る医療提供体制については、既に確立されているところですが</p> <p>(3) 妊産婦の家族や近親者の感染が疑われた場合の一時的な居場所の確保と実施費用の助成について伺います。</p>	
--------------------------------	---	--